

令和7年度 学校評価の結果・分析について

新居浜市立新居浜小学校

1 アンケート調査の概要

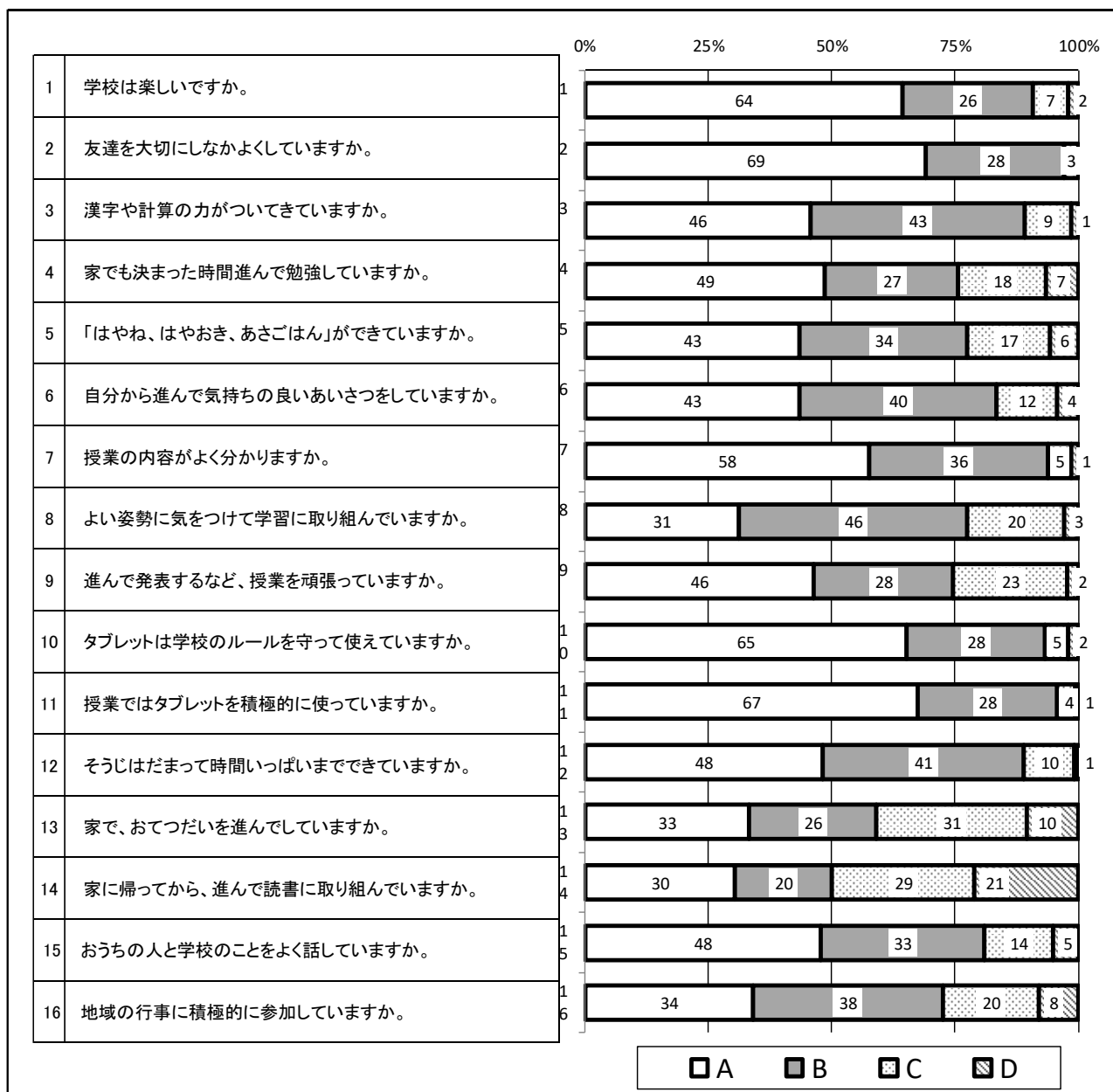
(1) 実施時期 12月

(2) 調査方法 タブレット端末等を活用した google フォーム（無記名）

※ 今年度は、保護者アンケートの回収率が74%に低下した。次年度、回収率が増加するように、効果的な呼び掛けを行っていきたい。

2 アンケートの結果と分析

R7年度 児童アンケート学校全体集計



よくできている・・・A できている・・・B あまりできていない・・・C できていない・・・D

R7年度 保護者アンケート学校全体集計



A…とてもよく当てはまる B…当てはまる C…あまり当てはまらない D…当てはまらない E…分からない

<児童アンケートについて>

- 全体的に「よくできている」「できている」と感じている児童が多い。
- 特に、「学校は楽しい」「友達と仲よく」「授業の内容がよく分かる」の質問では、90%以上の児童が「よくできている」「できている」と感じている。一方で、「学校は楽しくない」と感じている児童もいることから、児童一人一人への関わり、その思いをくみ取りな

がら教育活動を進めていきたい。

- 4人に1人の児童が、「家でも決まった時間進んで勉強している」「早寝、早起き、朝ご飯ができています」「良い姿勢に気を付けて学習に取り組んでいる」「進んで発表するなど、授業を頑張っている。」などの質問に「あまりできていない」「できていない」と感じている。生活習慣の改善や家庭学習の仕方についての呼び掛け、授業改善に取り組んでいきたい。
- 4～5割の児童が、「読書に進んで取り組んでいる」や「家でお手伝いを進んで行う」などの質問にあまりできていない」「できていない」と感じている。特に、自主学習等で読書に親しむ時間が少なくなっていることも考えられる。読書の奨励を推進する活動をさらに進めていきたい。

<保護者アンケートについて>

- ほとんどの項目で80%以上「よく当てはまる」「当てはまる」という回答から、本校の教育にご理解、ご協力を頂いていることが分かる。また、保護者の方も児童の様子から「学校生活を楽しんでいる」「友達を大切にし、仲良く生活できている」と感じている。
- 「学校教育の様子を分かりやすく伝えている」「学校行事が適切に実施されている」「PTA活動や学校行事に積極的に参加している」などの項目では、「よく当てはまる」「当てはまる」という回答が多い。保護者の方の学校教育に対する関心が高く、協力的に参加していただいていることが分かる。
- 「ゲームやテレビ、スマートフォンの時間は、家庭でルールを決めている」「基本的な生活習慣が身に付いている」「家でよくお手伝いをする」などの項目では、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の回答が比較的多い。放課後の過ごし方、特にスマホやタブレット、SNSなど使用のルールについて、家庭に啓発するとともに、学校においてもタブレットの使い方や情報モラル、生活習慣の在り方などについての再度、指導の徹底する必要がある。

2 学校運営協議会による今後の取組について

- 家庭におけるICT機器の利用と生活習慣への影響について
 - ・ タブレットの活用が定着している半面、家庭でのスマートフォンやタブレット端末等での使用時間が増え、生活習慣にも悪影響を及ぼすことが増えてきているのではないかと。保護者向けの啓発などの取組があると良い。また、教員がタブレット等の使い方やルール（新居浜市からのルール）の再確認をしておくとともに、児童への情報モラルやリテラシーの学習や指導を継続して行っていく。
- あいさつ
 - ・ 北中学校区で、あいさつに関するアンケート結果から良い評価が見られる。児童生徒がより良い学校生活を送ることができていると感じる。